

平成22年度  
商工会事業評価システム  
年次報告書

商工会事業評価システム

～成果主義を背景とした「目標対成果」の自己検証～

“即ち、限られた財源の中でいかに事業を効率化し、  
実行性のある事業を展開して行くか”

理事会 報告日 平成22年 4月21日 ( )

総（代）会報告日 平成22年 5月21日（予定）

入力年月日	平成22年4月30日
商工会コード	5251
商工会名	邑楽町 商工会
入力担当者職氏名	五十嵐 康博
分析シートの枚数	(5) 枚

群馬県商工会連合会

## 1. 評価対象者の概要

(1) 評価対象団体名
( 邑楽町 ) 商工会
所在地(邑楽郡邑楽町中野3197)
(2) 団体の概要
①会員数 ( 5 9 6 ) 名                      ②小規模事業者数 ( 7 9 3 ) 名
③職員数 ( 9 ) 名                              平成 2 2 年 3 月 3 1 日 現在
(3) 構成役員
①会長 ( 1 ) 名                      ②副会長 ( 2 ) 名                      ③理事 ( 2 5 ) 名
④監事 ( 2 ) 名
(4) 評価事業期間
平成 2 1 年 4 月 1 日から平成 2 2 年 3 月 3 1 日
(5) 評価算定者
職名 ( 経営指導員 )
氏名 ( 五十嵐 康博 )
<記入上の注意>
以下、2. 総括的概要 3. 外的及び内的環境の変化等 4. 重点課題項目の注目すべき実績 (要因を含む)を記入するにあたってのご注意
(1) この年次報告書は、商工会事業評価シートの【定性的評価】をもう少し解 かり易く、【定量的評価】の実績数値を示しながら記載することが求めら れています。
(2) 商工会の1年間の総括的概要、環境の変化(大型店の出店・地域プロジェ クト・役員の改選・職員の人事交流等)並びに年間を通じ特に重点を置いた 事業について、【当初の目標や計画に対しその結果】を比較考量しつつコ メント記述してください。

## 2. 総括的概要

わが国の経済全体としては、特に地方経済への波及効果の部分まで含め、まだまだ上昇気流に乗り切れているとはいえ、経済活動の水準を見ても回復を実感するには程遠い状況がこの一年続いているというのが景気に対する率直な感想であるように思われます。

また、国内経済から身近な当町に目を向けても、当会の多くの会員事業所は業績回復への明るい見通しを持っていない状況が続いており、後継者のいない会員の中には事業規模の大幅な縮小を、場合によっては廃業を余儀なくされるという事態も起きており、商工会脱退理由においても廃業が第一の原因となってきております。まさに、最近の会員を取り巻く経営環境は、ますます厳しさを増していると言えます。

当会では、このような現状を踏まえ、会員の直面している経営上の諸問題に対し、少しでも役立つ支援制度等の紹介及び斡旋を第一に心がけるとともに、昨年来、国から機動的に打ち出されている各種資金繰り支援策並びに経営問題への専門家派遣事業への迅速な対応など、会員事業所からの突発的な相談に対し、総合的な即応体制の強化に努めてまいりました。

また、年度当初に支給された定額給付金に合わせた「おうら町プレミアム付き金券発行事業」を町行政からの多大な支援をいただくなかで、地域の商業活性化策として積極的な事業展開を図ってまいりました。

また、一昨年からは会員への専門支援体制として確立し、機能しております商・工各1名の商工業支援相談員に、年度当初に県連から派遣された商工会支援員が新たに加わり、より一層の会員事業所へのきめ細かな対応を行ってまいりました。

その他、各種の講演会や研修会を開催するなど、経営改善普及事業及び一般事業等の事業計画に沿った各種事業を実施することができました。

なお、平成21年度中の会員の加入脱退状況は、加入16事業所、脱退19事業所で、差し引き3事業所の減となり、平成22年3月31日現在の会員数は596事業所です。

## 3. 外的及び内的環境の変化等

国の地方分権関連の審議会等では市町村合併の進展等を背景に地域内の商工団体の在り方についての検討がなされ、商工会の活動あるいは組織自体が議論の中心に据えられるという商工会組織にとっても厳しい時代を迎えています。総じて商工会の存在意義が問われる流れの中で、商工会がいかに組織強化を図り、会員企業へのきめ細かな支援機能の向上を図っていけるか、また停滞傾向にある地域にあって産業振興のみならずコミュニティ活動に対してもいかに貢献できるか、これらの難しい課題への対応を商工会は今、強く求められている。折りしも、全国商工会連合会の平成21年度最重点事業計画において、Ⅰ. 金融・経済危機に直面する中小企業への支援強化 Ⅱ. 支援機能強化に向けた商工会の組織・事業改革の徹底 Ⅲ. 小規模企業支援体制の拡充 Ⅳ. 地域の産業・コミュニティへの更なる貢献、の4項目が掲げられており、当会としても、会員事業所の置かれているかつてない厳しい経済状況と合わせて、これら4項目を当会活動にとっても差し迫った重要な課題として受け止めたうえで、会員から真に存在意義を認められる商工会を目指していくものである。

#### 4. 重点課題項目の注意すべき実績(要因を含む)

取組んだ重点課題項目の実績(負の結果:達成に至らなかった場合も含む)について「各実施事業毎の評価分析シート(様式-1)」を参考にして総括してください。

##### (1) 目標・計画

(当初の方針(目標)や計画など)

・地域活性化関連事業[おうら町プレミアム付き金券発行事業] ⇒ 金券発行事業により地域商業活性化と消費拡大を図る。  
・経営指導関連事業[エキスパートの積極的活用事業] ⇒ 経営上の諸問題に対する解決へ向けた指針の提示を図る。  
・経営指導関連事業[5Sの基本を学ぶ講習会の開催事業] ⇒ 経営に対する5Sの有効性を学習する機会を提供する。  
・中小商業活性化関連事業[前年度作成の商業マップ活用促進事業] ⇒ 地道なマップ配布活動による新規顧客数の増加を図る。  
・経営指導関連事業[群馬環境GS認定への支援事業] ⇒ 環境配慮の活動と生産活動の効率化、コスト低減化の相乗効果を図る。

##### (2) 事業の成果・結果

(年次の報告事項)

・地域活性化関連事業[おうら町プレミアム付き金券発行事業] ⇒ 当町内の商業商業活性化に、相応の効果をもたらした。  
・経営指導関連事業[エキスパートの積極的活用事業] ⇒ 7事業所、8件の相談内容にそれぞれの分野毎のエキスパートからの的確な指導を受けた。  
・経営指導関連事業[5Sの基本を学ぶ講習会の開催事業] ⇒ 工業部及び青年部の経営者にとって、経営環境の変化に様々な効果を発揮する5Sの有効性を認識する良い機会となった。  
・中小商業活性化関連事業[前年度作成の商業マップ活用促進事業] ⇒ 金券発行事業と商業マップの継続的な配布活動による相乗効果から、個店の新規顧客の増加と売上増につながった。  
・経営指導関連事業[群馬環境GS認定への支援事業] ⇒ 年度内に14社の会員企業に対して群馬環境GSの新規申請及び活動支援を行い、県内の町村部認定数において当町が1位となった。

##### (3) 要因分析

(成果・結果に至った原因や要因)

・地域活性化関連事業[おうら町プレミアム付き金券発行事業] ⇒ 金券発行事業を町全体の事業として推進し、事業への参加店を可能な限り募集したことによる。  
・経営指導関連事業[エキスパートの積極的活用事業] ⇒ 経営上の問題に直面している場合に、迅速な対応でエキスパートバンク事業の活用を事務局から提案したことによる。  
・経営指導関連事業[5Sの基本を学ぶ講習会の開催事業] ⇒ 難しい経営環境にある工業の経営者が中心となって、経営の原点に通じる5Sに改めて注目してみようと思う気持ちを強く感じたことによる。  
・中小商業活性化関連事業[前年度作成の商業マップ活用促進事業] ⇒ 金券発行事業との相乗効果を生むタイミングに商業マップの継続配布活動が地道になされたことによる。  
・経営指導関連事業[群馬環境GS認定への支援事業] ⇒ ますます環境を重視する傾向が強まる中で、事業の業績回復が思うように進まない状況で、経営の効率化、コスト低減化と一体である群馬環境GSの認定活動が重要な意味を持ってきていることによる。

- (1)重点課題項目について作成してください  
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月30日
商工会コード	5251
商工会名	邑楽町
入力担当者職氏名	五十嵐 康博
分析シートの枚数	(5) 枚中の (1) 枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	7. 地域活性化関連事業	おうら町プレミアム付き金券発行事業
-------	--------------	-------------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	プレミアム付き金券のお得感を一般消費者にアピールすることにより、地域商業の活性化を図る。	会員を含め町内事業所全体を対象に、当該事業への参加を広く呼びかけ、同時に、プレミアム付き金券発行事業ができる限り多くの町内消費者が利用できるように金券の一人当たり購入額限度額を設定するなどの工夫をした。
事業成果	150事業所の当該事業への参加があり、業種も商業を中心に幅広い業種に亘った。町全体への活性化策が浸透した。	金券取り扱い事業所には、一部の事業所への偏りはどうしても生じてしまうが、世の中の消費節約傾向が強まっている状況下、当町内の商業活性化に、金券総額5,500万円は相応の効果をもたらした。
付随成果	商工会事業が町産業の振興策に寄与するという側面が、行政当局にアピールできたと同時に一般消費者の商工会への認識が高められた。	

指標目標達成への貢献度	低 1                      2                      3                      4                      5                      高
	貢献度リストボックス入力 4:高い

事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力  <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> <span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px;">判定</span> <span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px;">完了</span> </div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left; padding: 2px;">評価の区別</th> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">1: 継 続</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">2: 見直し</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">3: 廃 止</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">4: 完 了</td> </tr> </table>	評価の区別	1: 継 続	2: 見直し	3: 廃 止	4: 完 了
評価の区別							
1: 継 続							
2: 見直し							
3: 廃 止							
4: 完 了							

入力担当者（評価者）のコメント欄	
（1）継続・見直しの今後の展開及び方向性	（2）廃止・完了の今後の展開及び方向性 プレミアム分の財政的裏づけなくしては、事業として成立し得ないところに無理があり、同種事業の継続は難しいと思われる。

今後の事業実施により期待される成果	プレミアムという即効性のある商業活性化策とは別の地道な顧客を大切にする姿をアピールできる事業を企画し実行に移していく積極性が商店側にも期待される。
-------------------	---

- (1)重点課題項目について作成してください  
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月30日
商工会コード	5251
商工会名	邑楽町
入力担当者職氏名	五十嵐 康博
分析シートの枚数	(5) 枚中の (2) 枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	1. 経営指導関連事業	エキスパートの積極的活用事業
-------	-------------	----------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	景気の回復も一向に進まず、厳しい経営環境の中で難しい経営を余儀なくされている経営者の経営上の諸問題に対し、解決の糸口を探すための重要な指針をエキスパートから提示してもらう。	県連のエキスパートバンク事業を会員にPRし、制度の有効活用を積極的に勧める。
事業成果	前年度に比較して、相談件数及び相談事業所数、共に大幅に増加した。	7事業所、8件の相談内容にそれぞれの専門分野毎のエキスパートにより的確な指導を受けた。
付随成果	現在の事業の閉塞的状況に対し、これからの事業の方向性を派遣された専門家から助言されることにより、検討すべき選択肢が増えるという重要な意味があるように思う。	

指標目標達成への貢献度	低 1                      2                      3                      4                      5 高
	貢献度リストボックス入力 4:高い

事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力	<table border="1"> <tr><td>評価の区別</td></tr> <tr><td>1: 継続</td></tr> <tr><td>2: 見直し</td></tr> <tr><td>3: 廃止</td></tr> <tr><td>4: 完了</td></tr> </table>	評価の区別	1: 継続	2: 見直し	3: 廃止	4: 完了
評価の区別							
1: 継続							
2: 見直し							
3: 廃止							
4: 完了							
	判定                      継続						

入力担当者（評価者）のコメント欄	
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 先に実施された会員アンケートによっても、まだまだ商工会事業の中での知名度は、低い状況が指摘されているので、より一層PRしていく必要性を感じる。	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性

今後の事業実施により期待される成果	会員自身の自発的な当該事業の積極的活用により、経営改善または業績向上に貢献していく実績を積み重ねることにより商工会の会員事業所への経営支援事業の重要性に注目してもらいたい。結果として、商工会の存在意義が高まるものと期待する。
-------------------	--

- (1) 重点課題項目について作成してください  
 (2) 実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月30日
商工会コード	5251
商工会名	邑楽町
入力担当者職氏名	五十嵐 康博
分析シートの枚数	(5) 枚中の (3) 枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	1. 経営指導関連事業	「5Sの基本を学ぶ」講習会の開催事業
-------	-------------	--------------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	大幅な景気落ち込み前の水準へと回復するにはまだ当分の間、実感の伴わない状況が続いている製造業にあって、製造業はもちろん業種の垣根を越えて、停滞期に何か会員事業所がすべきことはないのか、また、どのようなところに意識を向けるべきか、これら事業経営の基本的な部分に答えを用意しているのが、まさに5Sであるとの認識の基に、5Sの精神を改めて見つめ直す機会を会員に持ってもらおう。	工業部、青年部の主催事業の柱として5Sについての勉強会を企画し、実施した。
事業成果	モノづくりを取り巻く環境変化に様々な効果を発揮する5Sについて、具体的な導入例の説明と合わせて、その有効性を認識する良い機会となった。	工業部主催講習会「我々は5Sで何を求めるのか」、青年部主催講習会「5Sをもっと知ろう」を実施。

付随成果				
------	--	--	--	--

指標目標達成への貢献度	低 1                      2                      3                      4                      5 高
	貢献度リストボックス入力 4:高い

事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力  <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> <span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px;">判定</span> <span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px;">継続</span> </div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left; padding: 2px;">評価の区別</th> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">1: 継続</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">2: 見直し</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">3: 廃止</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">4: 完了</td> </tr> </table>	評価の区別	1: 継続	2: 見直し	3: 廃止	4: 完了
評価の区別							
1: 継続							
2: 見直し							
3: 廃止							
4: 完了							

<b>入力担当者（評価者）のコメント欄</b>	
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 業績の良し悪しに関係なく、経営環境に柔軟に適用していく企業の基礎体力を高めるために、5Sは欠くことのできない実践的活動であるとの認識は重要である	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性

今後の事業実施により期待される成果	小規模な事業形態にあって、他社に先駆けて、製品等の品質を高めていくための有効な武器となり得る5Sについての理解をより多くの会員に広め、同時に実践的活動につながっていくことを期待する。
-------------------	---

- (1)重点課題項目について作成してください  
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月30日
商工会コード	5251
商工会名	邑楽町
入力担当者職氏名	五十嵐 康博
分析シートの枚数	(5) 枚中の (4) 枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	4. 中小商業活性化関連事業	前年度作成の商業マップ活用促進事業
-------	----------------	-------------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	前年度に作成した飲食業を中心とした商業マップの作成目的は、地域内外の一般消費者に対し、販売促進につながる個店PR活動であり、一過性のPRに終わらせない努力が必要と思われる。その意味で、マップの継続的な配布活動と個店自身による自主的PR活動との相乗効果も期待できる。	掲載店の店頭での配布を始め、公共施設または当町及び近隣市町で開催されるイベント会場での配布にも継続的な活動を行った。
事業成果	年度の主要事業となったプレミアム付き金券発行事業と商業マップの継続的な配布活動への取り組みにより、相乗効果から新規来店客数あるいは売上の増加に少なからず貢献したと思われる。	当該年度中にマップ残部数6,000枚を配布した。
付随成果	前年度事業として実施した商業マップ作成事業の対象業種として、飲食業を中心に掲載店を絞ったが、表れた事業成果を見て、商業の会員事業所のうち、他の業種の会員からも別のマップ作成を要望する声も上がってきた。	

指標目標達成への貢献度	低 1                      2                      3                      4                      5 高
	貢献度リストボックス入力 4:高い

事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力	判定	継続
		評価の区別	
		1: 継続	
		2: 見直し	
		3: 廃止	
		4: 完了	

入力担当者（評価者）のコメント欄	
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 商業会員にとって、商業マップ作成事業の目に見える成果という魅力から、第2弾商業マップ作成事業（卸・小売・サービス業対象）を次年度の重点事業として実施する。	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性

今後の事業実施により期待される成果	同じ業種の中でのバラエティさを出しつつ、多くの会員がまとまったところで発揮される複合的な魅力も大事であるが、実際の買い物行動という場面において、消費者を裏切らない個店として、それぞれの魅力を高める自助努力も同時並行的活動としてより重要な目標となるべき点であるように思われる。個店支援事業として、県連エキスパートバンク事業等を積極的に活用することにより、店舗の魅力度アップにつながっていくことを期待する。
-------------------	---

- (1)重点課題項目について作成してください  
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月30日
商工会コード	5251
商工会名	邑楽町
入力担当者職氏名	五十嵐 康博
分析シートの枚数	(5) 枚中の (5) 枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	1. 経営指導関連事業	群馬環境GS認定への支援事業
-------	-------------	----------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	地球温暖化防止に向けた事業者の取組を社会的に評価されるよう群馬県が認定しようとつくられた環境GS認定制度への申請から認定までの一連の活動に対して、会員事業所の取組を支援・指導するものである。	同制度の周知活動と個別会員事業所への申請に係る勧奨。新規取組企業の申請及び継続企業への支援を行う。
事業成果	環境GS認定に向けた省エネルギーまたは廃棄物減量化等の活動の中で推進された生産活動の効率化及びコスト低減化の努力が、結果として経営改善の効果をもたらす。	当該年度中、14社を対象に、新規申請支援及び活動支援を行った。
付随成果	工場内及び事務所内の照明から空調はもちろん、生産工程でのムダの排除と効率化の徹底を図っていくという作業従事者の意識改革につながるきっかけができる。	

指標目標達成への貢献度	低 1                      2                      3                      4                      5                      高
	貢献度リストボックス入力 4:高い

事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力  <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> <span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px;">判定</span> <span style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px;">継続</span> </div>	評価の区別 1: 継続 2: 見直し 3: 廃止 4: 完了
-----------	--	--

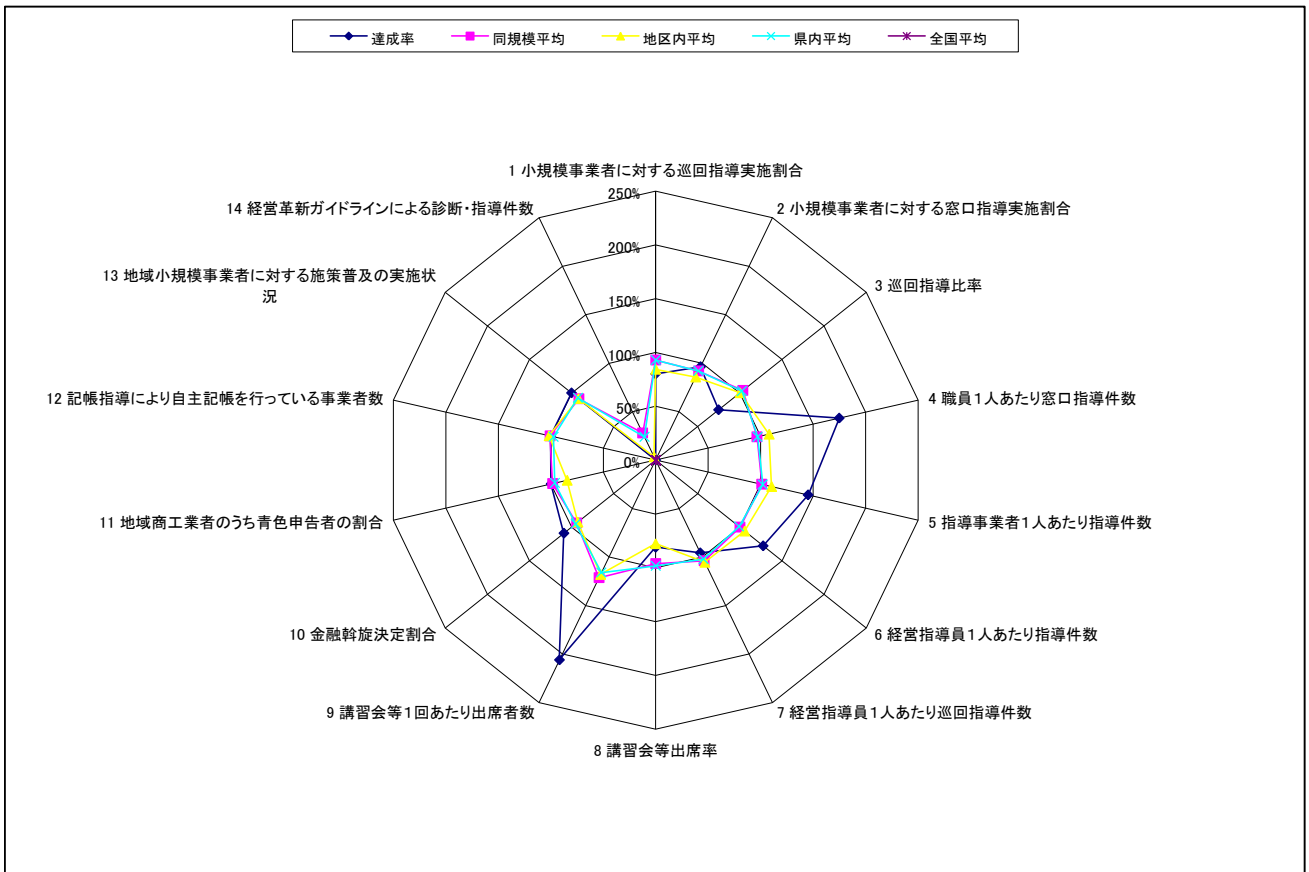
入力担当者（評価者）のコメント欄	
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 今世紀に入り、CO2削減が全地球規模で論議されている現状から、企業規模の大小に係らず何らかの環境面での配慮あるいは負担等の方向性は変わらないように思われる。	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性

今後の事業実施により期待される成果	環境GS認定制度をより多くの会員事業所に周知し、1社でも多くの事業所が、認定に向けた活動に積極的に取り組み、業績の向上につながるプラス効果をもたらすことを期待する。
-------------------	--

事業区分 1 経営指導関連事業

5251 邑楽町

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
1	1 小規模事業者に対する巡回指導実施割合	80%	93%	84%	93%	0%	
	2 小規模事業者に対する窓口指導実施割合	96%	92%	86%	92%	0%	
	3 巡回指導比率	75%	104%	100%	103%	0%	
	4 職員1人あたり窓口指導件数	175%	97%	108%	97%	0%	
	5 指導事業者1人あたり指導件数	145%	101%	110%	102%	0%	
	6 経営指導員1人あたり指導件数	128%	100%	106%	99%	0%	
	7 経営指導員1人あたり巡回指導件数	96%	104%	105%	102%	0%	
	8 講習会等出席率	81%	96%	78%	98%	0%	
	9 講習会等1回あたり出席者数	206%	121%	118%	116%	0%	
	10 金融幹旋決定割合	109%	94%	92%	95%	0%	
	11 地域商工業者のうち青色申告者の割合	100%	98%	84%	96%	0%	
	12 記帳指導により自主記帳を行っている事業者数	100%	101%	102%	97%	0%	
	13 地域小規模事業者に対する施策普及の実施状況	100%	91%	92%	93%	0%	
	14 経営革新ガイドラインによる診断・指導件数	0%	28%	3%	24%	0%	
合計	平均	106.5%	94.3%	90.6%	93.4%	0.0%	



自己評価コメント欄

---



---



---

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

---



---

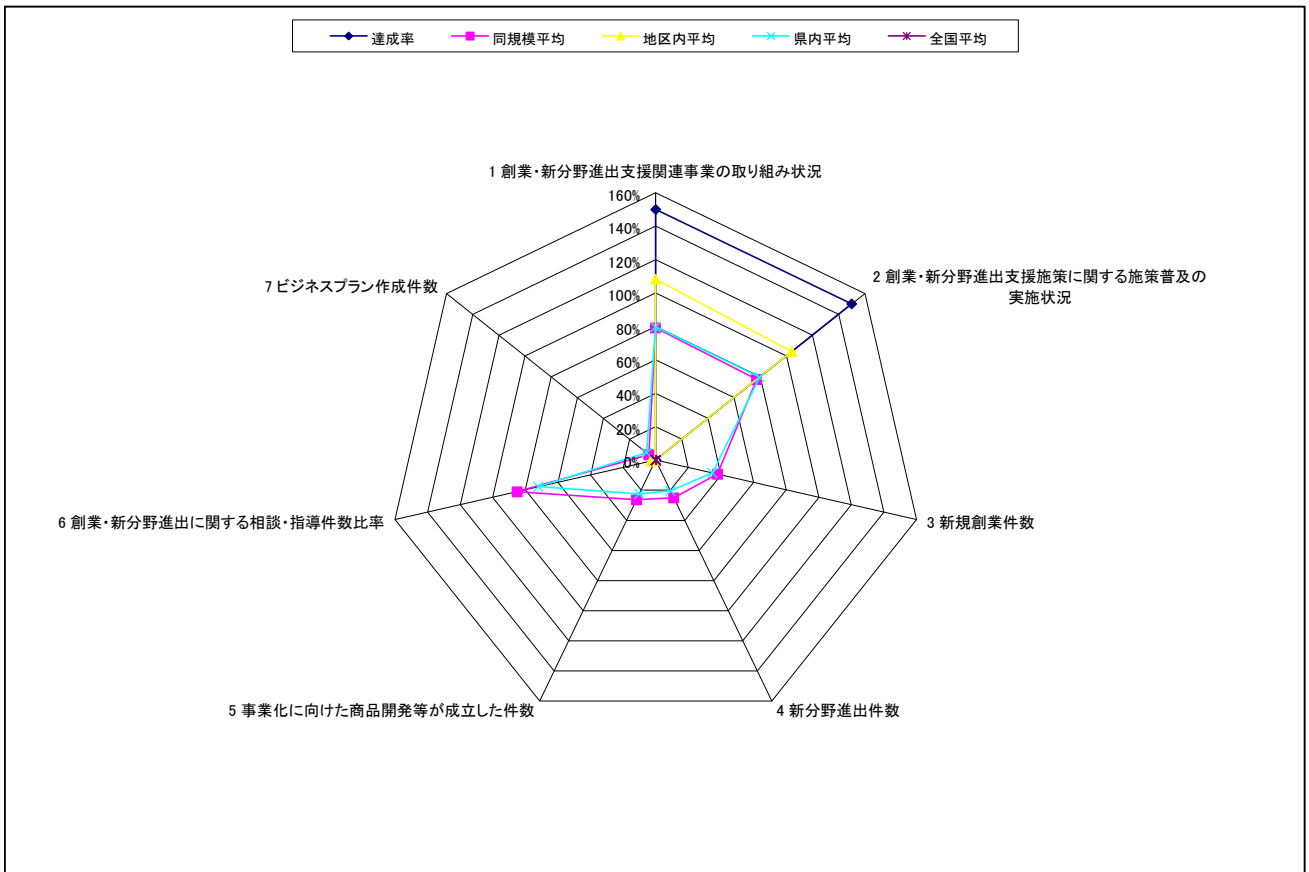


---

事業区分 2 創業・新分野進出支援関連事業

5251 邑楽町

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
2	1 創業・新分野進出支援関連事業の取り組み状況	150%	79%	108%	80%	0%	
	2 創業・新分野進出支援施策に関する施策普及の実施状況	150%	77%	104%	79%	0%	
	3 新規創業件数	0%	38%	0%	35%	0%	
	4 新分野進出件数	0%	25%	0%	20%	0%	
	5 事業化に向けた商品開発等が成立した件数	0%	26%	0%	23%	0%	
	6 創業・新分野進出に関する相談・指導件数比率	0%	85%	3%	72%	0%	
	7 ビジネスプラン作成件数	0%	5%	0%	7%	0%	
合計	平均	42.9%	48.0%	30.8%	45.1%	0.0%	



自己評価コメント欄

---



---



---

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

---



---



---







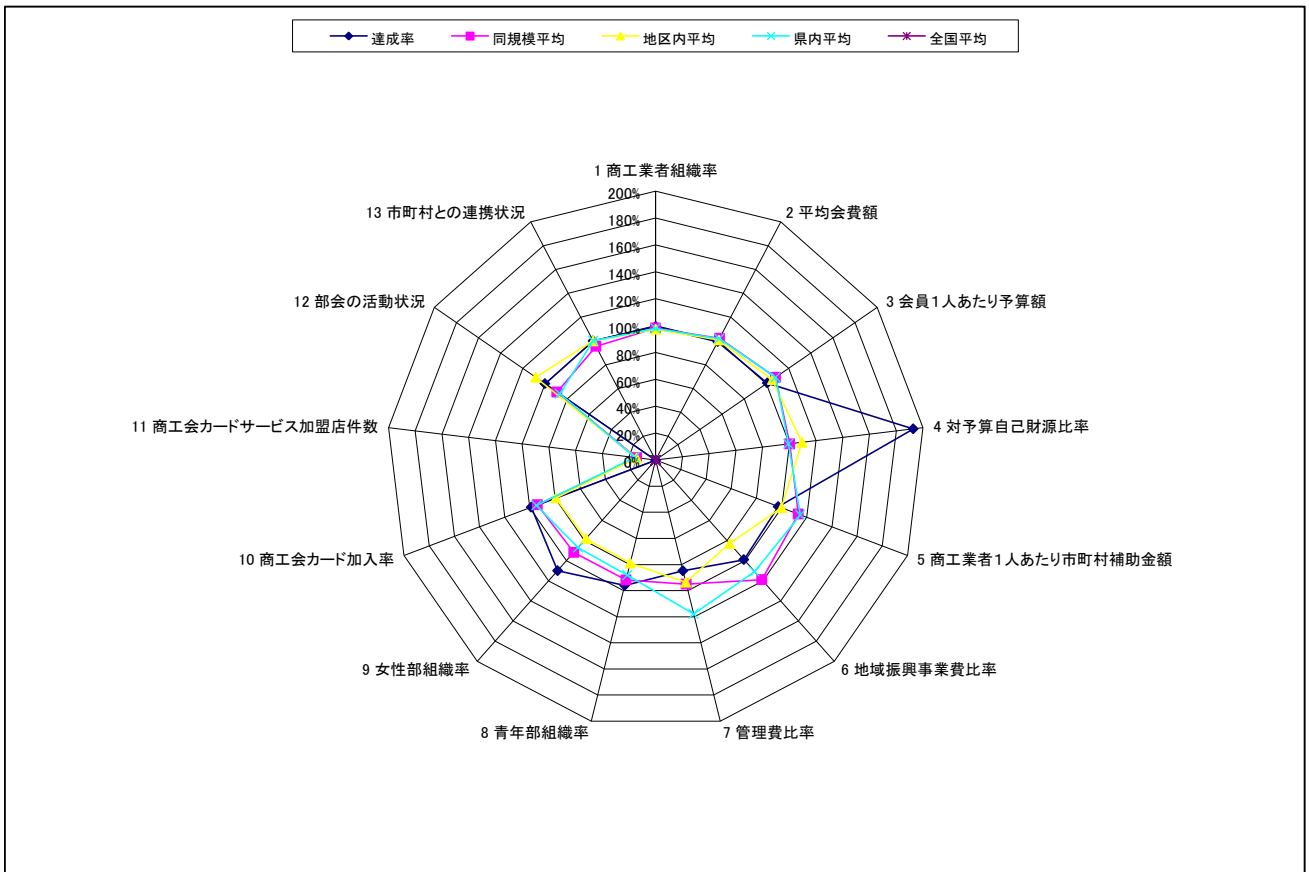




事業区分 8 組織基盤強化関連事業

5251 邑楽町

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
8	1 商工業者組織率	99%	98%	97%	98%	0%	
	2 平均会費額	99%	102%	101%	102%	0%	
	3 会員1人あたり予算額	101%	108%	105%	108%	0%	
	4 対予算自己財源比率	193%	100%	110%	99%	0%	
	5 商工業者1人あたり市町村補助金額	97%	113%	100%	115%	0%	
	6 地域振興事業費比率	99%	119%	83%	111%	0%	
	7 管理費比率	85%	95%	94%	118%	0%	
	8 青年部組織率	96%	92%	79%	88%	0%	
	9 女性部組織率	110%	92%	78%	87%	0%	
	10 商工会カード加入率	99%	94%	79%	95%	0%	
	11 商工会カードサービス加盟店件数	0%	14%	14%	16%	0%	
	12 部会の活動状況	100%	89%	108%	87%	0%	
	13 市町村との連携状況	100%	95%	100%	100%	0%	
合計	平均	98.3%	93.2%	88.3%	94.1%	0.0%	



自己評価コメント欄

---



---



---

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

---



---



---